

科目名 (科目番号)	地域理学療法学 (064251)	教員名	有田真己, 他	学科等	理学療法	必修	履修年次	3
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
				授業形態	講義	オフィスアワー	別紙参照	
授業概要		地域リハビリテーションに関連する地域保健福祉政策と法制度について解説し、在宅高齢者、障害者のニーズについて理解を深める。また、在宅でのADL及びQOL向上を目的とする理学療法の方法論や家族あるいは地域との協力関係の構築について、基本的な知識の習得を目的とする。						
目的・目標		目的:在宅生活を営む障害者及び高齢者の日常生活の自立を支援するための地域に関わる理学療法士の役割について解説し、そのために必要な知識の習得を目的とする。 目標:①地域リハビリテーションに関連する理学療法の役割を理解できる。 ②高齢者や障害者が地域で生活を送るために必要な理学療法の介入方法について理解できる。						
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目		到達目標・学習内容				
	1	地域理学療法の理念と社会的背景(1)		到達目標:社会保障制度について理解する。 学習内容:地域リハビリテーションの広がり和社会的背景、障害児・者について学習する。				
	2	地域理学療法の理念と社会的背景(2)		到達目標:地域理学療法について理解する。 学習内容:地域包括ケアシステムと地域連携について対象者について学習する。				
	3	介護保険制度と理学療法(1)		到達目標:介護保険制度の背景と要介護認定の仕組みおよびケアマネジメントについて理解する。 学習内容:介護保険制度について学習する。				
	4	介護保険制度と理学療法(2)		到達目標:介護保険施設と介護保険サービスの特徴および地域包括ケアシステムの概要について理解する。 学習内容:介護保険サービスとその評価について学習する。				
	5	地域理学療法の展開(1)		到達目標:入所リハビリおよび通所リハビリにおける理学療法の実践について理解する。 学習内容:行政における理学療法の役割について学習する。				
	6	地域理学療法の展開(2)		到達目標:訪問リハビリにおける理学療法の実践と集団リハの必要性について理解する。 学習内容:地域理学療法でのそれぞれの展開方法について学習する。				
	7	地域理学療法の展開(3)		到達目標:在宅移行支援・施設での支援について理解する。 学習内容:地域理学療法でのそれぞれの展開方法について学習する。				
	8	地域理学療法のリスクマネジメント		到達目標:施設,訪問,健康増進分野でのリスクマネジメントを理解する。 学習内容:施設や訪問および体力増進に関わるリスク管理について学習する。				
	9	QOLの増大に向けて(1)		到達目標:障害者スポーツ・小児理学療法について理解する。 学習内容:QOLの増大に向けた様々な活動と支援に関して学習する。				
	10	QOLの増大に向けて(2)		到達目標:健康増進・自主グループ活動について理解する。 学習内容:QOLの増大に向けた様々な活動と支援に関して学習する。				
	11	生活環境の整備(1)		到達目標:住宅改修・福祉用具について理解する。 学習内容:住宅改修・社会資源・シーティングなどによる生活環境の整備について学習する。				
	12	生活環境の整備(2)		到達目標:社会資源などを用いる生活環境の整備について理解する。 学習内容:住宅改修・社会資源・シーティングなどによる生活環境の整備について学習する。				
	13	地域理学療法の実際(1)グループワーク		到達目標:在宅生活者の評価,プログラムの立案,実施の流れを理解する。 学習内容:各疾患別のアプローチ例から、評価・プログラムの立案・実施の流れを学ぶ。				
	14	地域理学療法の実際(2)グループワーク		到達目標:プログラム立案、社会資源の活用方法、生活の再構築を考える力を養う。 学習内容:各疾患別のアプローチ例から、評価・プログラムの立案・実施の流れを学ぶ。				
	15	プレゼンテーション		到達目標:担当する症例の情報整理、情報の共有により幅広い思考力を養う。 学習内容:各症例で検討した内容を報告する。				
成績評価の方法・基準		試験(60%)＋レポート・グループワーク・報告(40%) (評価表に基づいて評価をおこないます)						
教科書		標準理学療法学 地域理学療法学(第5版)		奈良勲 監修 牧田光代 編集		医学書院		
参考図書		地域リハビリテーション学テキスト 地域リハビリテーション論		細田多穂 監修 大田仁史 編著		南江堂 三輪書店		
教員からのメッセージ		講義の進度、その他必要に応じて内容を変更する場合があります。レポートはコメントを付して後日返却します。医療・介護保健施設などで勤務した理学療法士がこの授業を担当します。オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知します。						